



(3,000円)

実用新案登録願

昭和53年12月6日

特許庁長官 片山石郎 殿

1. 考案の名称
ジドウシャトウノザセキ
自動車等の座席
2. 考案者
住所 神奈川県 横浜須賀町 / 丁目2 / 番地
氏名 イシカワ ヨシハル
石川 嘉治
3. 実用新案登録出願人
住所 神奈川県 横浜市 保土ヶ谷区 東川島町 / 番地の3
氏名 イケダ フツサン
池田物産株式会社
代表者 イケダ ヒサシ
池田 寿
4. 代理人
住所 東京都中央区銀座七丁目14番3号
松慶ビルディング
4235 氏名 辨理士 井上清子
(外 / 名)
5. 添付書類の目録

(1) 明細書	1通
(2) 図面	17通
(3) 願書副本	1通
(4) 委任状	1通
(5) 出願審査請求書	1通

電話(541) {1776(代)
4572



51 162223

53-80603

明 細 書

1 考案の名称 自動車等の座席

2 実用新案登録請求の範囲

パッド材を表装皮膜で被覆した座席本体に該本体を貫通し表装皮膜の表面に開口する通気孔とパッド材に前記通気孔に開口する通気路を設けた自動車等の座席。

3 考案の詳細な説明

本案は主として座席の座部及び背もたれ部を通気性にした自動車の座席に関するものである。

非通気性な合成樹脂シート等で被覆された座席は通気性が悪く、長時間着座した場合、座者に不快感を与えるものである。

本案は上記の欠点を改善し通気性がよく座心地のすぐれた座席を提供しようとするものである。

以下本案を実施例について説明すると、ポリ塩化ビニルその他の非通気性合成樹脂シートからなる表装皮膜(1)で、ポリウレタン発泡体その他の緩衝性パッド材(2)の表面を被覆して座席本体(3)が形成されている。(4)は座席本体(3)を貫通し表装皮膜

の表面に開口する通気孔で、該通気孔は適当な孔径例えば10～20mmにして1乃至数個が適当に配設されている。この通気孔は表装皮膜の部分の孔径をパッド材の孔径より小さく形成することでもでき(第3図)、パッド材が表装皮膜の外側から見え難く外見がよい。又表装皮膜とパッド材の間に細い目の網(7)等を設けても同様な効果が得られる。(5)はパッド材(2)の表面に設けられた溝等の通気路で、前記通気孔(4)に開口しており、表装皮膜とパッド材間の通気を良好にし且つパッド材内部の通気性を助長することができる。又パッド材内部に前記通気孔(4)に開口する横孔等の通気路を設ける場合も有り得る。上記の通気路(5)は通気孔(4)の数によつて多くも、また少くもなる。又パッド材だけを貫通する縦孔等の通気路(5a)を通気孔(4)の間に配設し、これを通気路(5)を介して通気孔(4)に連結させることもできる。(第4図)この場合本体を貫通する通気孔(4)の数を減少でき、製作の手数が省けるばかりでなく、クッション性の改善もできる。通気孔(4)の表装皮膜開口端にはアイレ

ットその他の縁部材(6)が嵌着され、表皮膜の端部を保護すると共にすぐれた外見の座席が得られる。

本案は以上のように構成されているので、座席の通気性がよく、長時間着座してもむれることもなく、良好な座心地が得られ、快適な走行を楽しむことができで。又クッション性、外見もすぐれ、構造も簡単で製造も容易で経済的にも極めて有利なものである。

4 図面の簡単な説明

図面は本案の実施例を示し、第1図は斜面図、第2図は第1図のⅡ－Ⅱ線断面図、第3図は変形例を示す断面図、第4図は他の変形例を示す断面図である。

(1)は表装表皮膜、(2)はパッド材、(3)は座席本体、(4)は通気孔、(5)は通気路、(6)は縁部材である。

実用新案登録出願人

池田物産株式会社

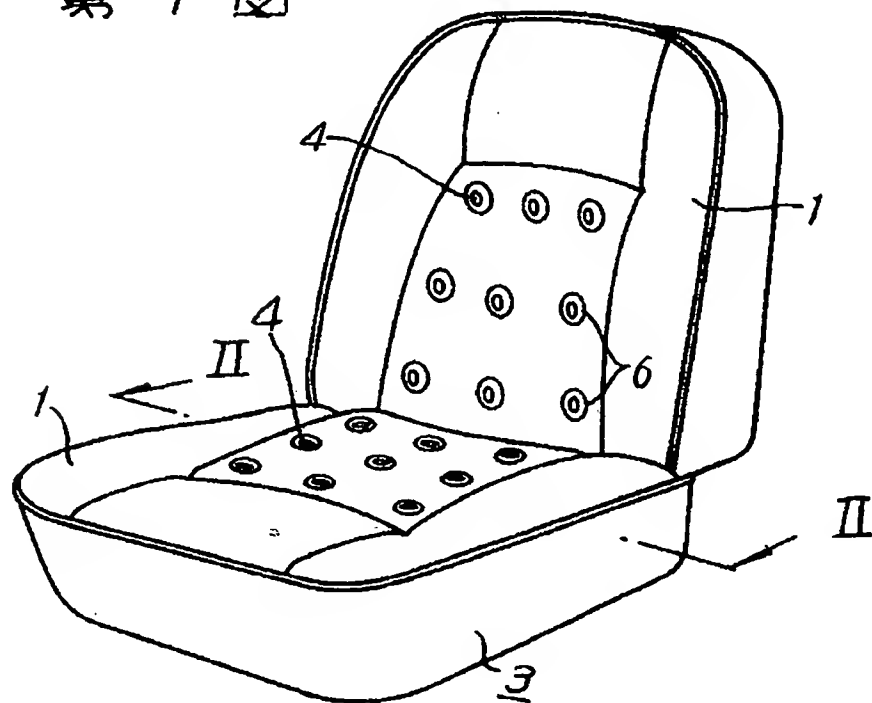
代理人 辨理士

井 上 清 子

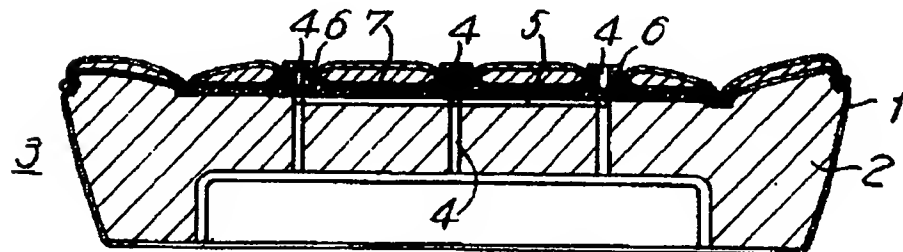
代理人 辨理士

亀 川 義 示

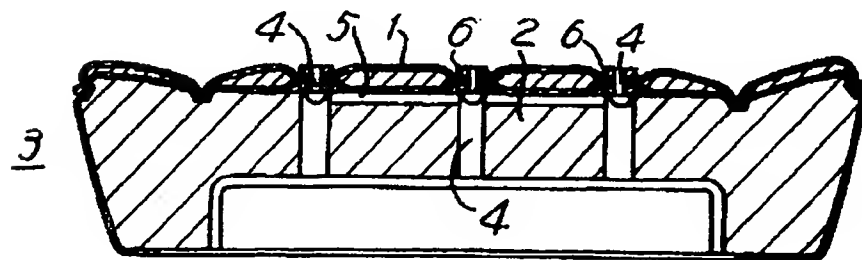
第 1 図



第 2 図

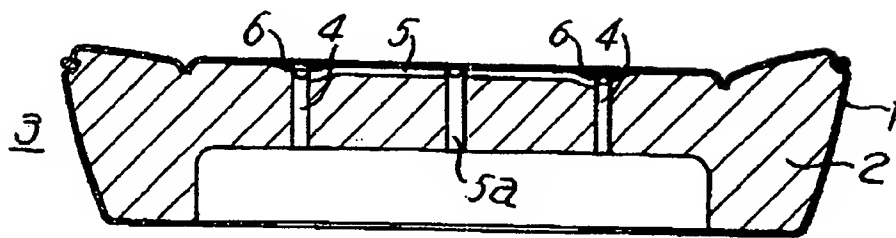


第 3 図



実用新案登録出願人 池田物産株式会社
 80603 代理人 弁理士 井上 清
 外 1 号

第 4 図



80603

7/2

実用新案登録出願人 池田物産株式会社
代理人弁理士 井上 清子
外1名

6 前記以外の代理人

住 所 東京都中央区銀座七丁目ノ4番3号
松慶ビルディング

8154 氏 名 辨理士 亀 川 義 示